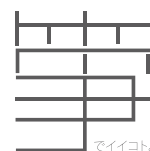


EcKoto 箏

Produced by masuda atsushi

【弦の付け替え方法】



* 用意する物 Equipment

- ・新しい弦
- ・ハンドル
- ・ニッパー
(もしくは、裁縫はさみ)



* 弦が切れてから、付け替えるまでの流れ (10段階) Flow

- ① 切れた弦を外す
- ② 新しい弦を雲角の下から通す
- ③ 弦を龍角の上から通す
- ④ ペグの穴に弦を通す
- ⑤ 弦に結び目を作る
- ⑥ 結び目から余分な弦を切断する
- ⑦ 箏の胴体上に掛けられた弦を上引っ張る
- ⑧ ハンドルをペグに装着して時計回りに回す
- ⑨ 弦の緩みがない状態になったら箏柱を立てる
- ⑩ 箏柱を押さえながら適当な音になるまで調整する

5段階目の「結び目」作り
が一番のポイント!

次項から各段階に分けて、順々に解説します。→→→→→→→→→→

Start

I

切れた弦を外す

STEP 1

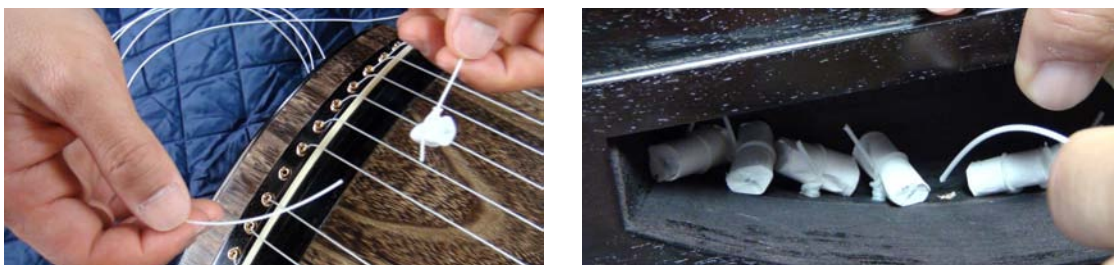


雲角側（左）
龍角側（右）

II

新しい弦を雲角の下から通す

STEP 2



新しい弦の赤いヒモを解いて外す。弦を通しやすくするために、箏を逆さまにする。

III

弦を龍角の上から通す

STEP 3

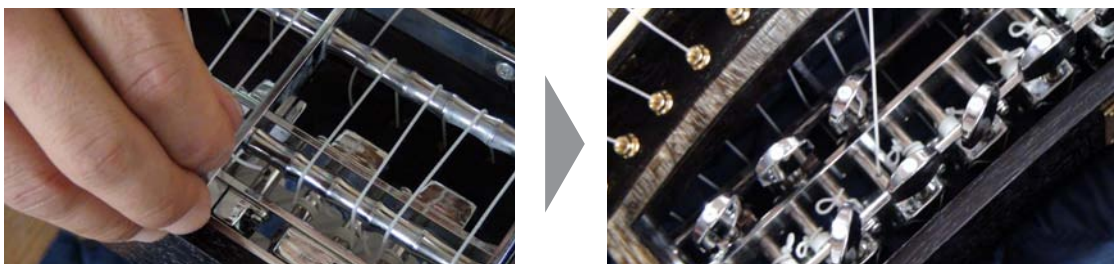


龍角上から下へ弦を持っていき、弦を通す。

IV

ペグの穴に弦を通す

STEP 4



弦を通しやすくするために、箏を逆さまにする。

逆さまにした箏を元に戻し、弦を下から上へ引っ張る。

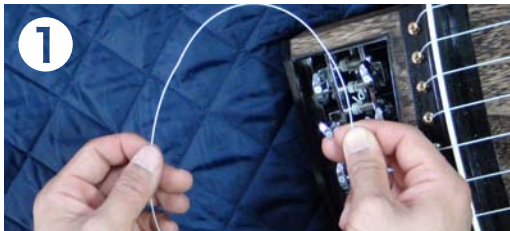


POINT!

弦に結び目を作る

STEP 5

以下①～⑪で「引き解け結び」を作ります。



① 先端の方を左手に持ち、弦の根本の方(なるべくペグの近く)を持つ。



② 左手で持っている弦を画像のようにクロスさせる。



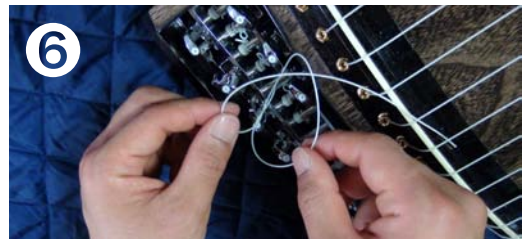
③ 交わった部分を右手で持つ。



④ 真っ直ぐ伸びた弦を左手で持ち、輪になっている上に乗せる。



⑤ 輪の上に乗せた弦を、輪の下から左手で引っ張る。



⑥ 左手で弦を引っ張る際に、先端が輪から飛び出ないように注意する。



⑦ 左手は弦を摘んだままの状態、摘んでいる弦と輪の交わり部分を右手の人差し指で押さえつける。

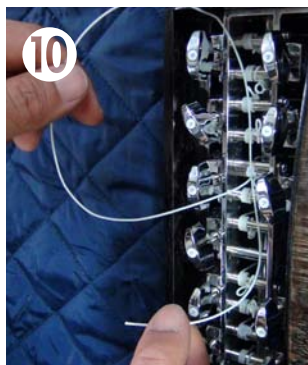


⑧ 右手の人差し指は押さえつけたままの状態、摘んでいる左手の弦を矢印の方向へ引っ張る。

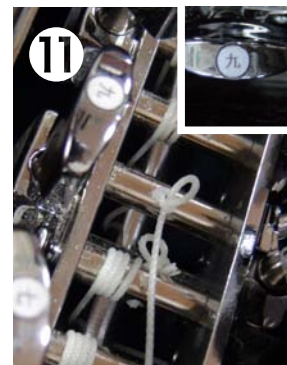


⑨ 右手の人差し指で押さえつけていた部分に結び目が確認できたら、その押さえつけていた右手の人差し指を放す。

*結び目が緩いようであれば、さらに左手で引っ張る。



⑩ 結び目が出来上がったら、弦の先端を右手で持ち、引っ張る。



⑪ ペグの弦番号が書かれた白丸の大きさになるまで、右手で引っ張る。

*注意:引っ張り過ぎると結び目が解けてしまう

FINISH!!!

VI 結び目から余分な弦を切断する ————— STEP 6



結び目部分が出来上がったら、余った弦を結び目から約5mmほどの所で切る。普通のハサミで切りにくい場合は、ニッパーもしくは裁縫ばさみを用いる。

VII 箏の胴体上に掛けられた弦を上引っ張る ————— STEP 7



VIII ハンドルをペグに装着して時計回りに回す ————— STEP 8



ハンドルをペグに取り付けて、時計回りに回す。時折、弦を上延ばしながらハンドルを回し締めていく。

IX 弦の緩みがない状態になったら箏柱を立てる ————— STEP 9



弦に緩みがなくなり、真っ直ぐに張ってきたら箏柱を立てる。



箏柱を押さえながら適当な音になるまで調整する — STEP 10



注意:転倒防止のため、ハンドルを回す際には、箏柱は押さえたまにする

弦の付け替えの完成 FINISH!!!



<http://eckoto.net>

